目標達成に向け加速

ベルマーク作業に感謝！

「すべての子どもに等しく、豊かな環境の中で教育を受けさせたい。」そんな願いを込めてベルマーク運動は、１９６０年に始まりました。校長が生まれた頃に始まった活動が、共鳴する企業や地域・ＰＴＡのボランティアに支えられて、助け合いの輪が大きく広がっていることを実感しています。

２３日（水）母親委員会１７名が参加して、ベルマークを整理してくれました。今回は、目標の食器棚の購入に向け、一段と加速したようです。皆さんのご協力に感謝です。

「テトラパックとインクカートリッジ」等の回収整理も行いました。

二十九日は一学期ＰＴＡです。

授業参観にお出での際は、マスクの着用、手指消毒、三密回避等にご協力をお願いします。多数の参加をお待ちしております。

２年生 まち探検

柳町の魅力と不思議なものをたくさん見つけてきました。この後の報告がとても楽しみです。

フッ化物洗口再開します。

７月９日（金）から、新型コロナ感染症対策で休止していた「フッ化物洗口」を再開いたします。フッ化物洗口は、むし歯予防を目的にフッ化ナトリウムを含む液体でぶくぶくうがいする方法で行います。学校では、三密にならないように、全員分の紙コップを用意し、教室内でうがいをさせる予定です。紙コップは使い捨てとします。洗口を希望しない児童は「水うがい」などをします。各家庭のご理解ご協力よろしくお願いします。

校長室だより

歴史が好き

アカデミックな歴史には詳しくないが、昔から歴史の大ファンである。

価値判断や因果関係を考えることなく事実だけが重要視され、歴史が暗記ものとなっていた頃とは違い、今は歴史を物語と捉え、愉しんでいる。

日本の歴史の転換点である明治維新以降がお気に入りで、ストーリー（筋道）を立てながら理解しようとすると、歴史の全体像がよく見えてくる。サザンの桑田佳祐が「ピースとハイライト」という曲の中で、「教科書は現代史をやる前に時間切れ　そこが一番知りたいのに　何でそうなっちゃうの？」と歌うが、古代や中世に比べて、現代史を学んだ記憶がない世代には新鮮で、想像の翼は広がるばかりである。

かつて、「歴史にｉｆ（もしも）は、禁物」と指導を受けたが、「もしも、大政奉還がなかったら、日本はどうなっていたのだろうか」を学習問題に、その後の展開を周辺の「史実」を織り交ぜながら、虚と実が錯綜するように予想するシミュレーションは実に興味深い。

歴史の学習は、過去に学ぶことで、現在起こっている出来事を読み解き、よりよい未来を生み出すことを支えている。

news! 親子レク最前線

親子レクが各学年の企画運営で、順調にスタートしました。３年部、５年部、６年部は、いずれも人気の「じゅんさい摘み」をメインに実施しました。活動を通して、豊富な収穫に加えて、親同士、子ども同士の絆もさらに深まったようです。これから実施される学年もどうか気楽に愉しんでください。今後も、ＰＴＡ会員の親睦を深めていきましょう。